

くまもとの夢4力年戦略 進捗レポート2011



平成23年3月
熊本県



熊本県では、県政運営の基本方針「くまもとの夢4カ年戦略」に掲げた「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい熊本」（「くまもとの夢」）の実現をめざし、全力で取り組んでいます。

このパンフレットは、4カ年戦略の進捗状況（主な成果、取り組み内容等）をお伝えするために作成しました。「くまもとの夢」の実現に向け、県民の皆様とともに進んでいきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

熊本県知事 蒲島郁夫

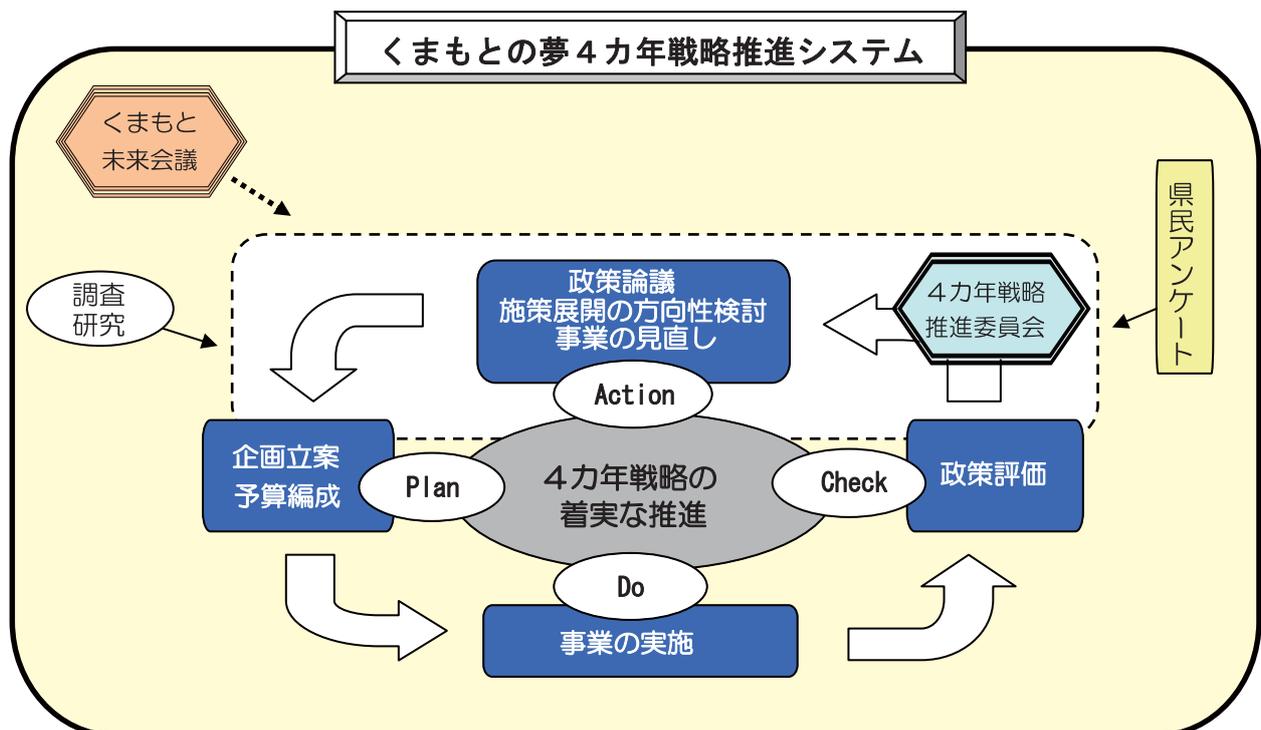
くまもとの夢4カ年戦略とは

- 知事マニフェストをもとに策定した、県政運営の基本方針（計画期間：平成20～23年度）です。
- 「くまもとの夢」の実現に向け、「経済上昇くまもと」、「長寿安心くまもと」、「品格あるくまもと」、「人が輝くくまもと」の4分野で12の戦略を進めています。
- 各戦略には、指標（進捗状況を測るための数値）や「重点的に取り組む施策」を掲げ、政策評価等を活用した「くまもとの夢4カ年戦略推進システム」（下図）により、成果重視の県政運営を行っています。
- 情報公開に努めるとともに、県民、市町村、企業、大学、各種団体、NPO等の活力やノウハウを積極的に活用し、県民総参加で取り組んでいます。

※ 詳しくは、熊本県ホームページに掲載しています。

[くまもとの夢4カ年戦略](#)

検索



くまもとの夢：「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい熊本」

県民幸福量の最大化

くまもとの夢の実現に向けた取組み
(4つの分野)

経済上昇くまもと
(経済)

目標

- 農林漁業者の安定した所得を確保します。
- リーディング産業の更なる集積と中小企業の振興により、地域経済を活性化させ、雇用の場を確保・充実します。
- 県内の観光宿泊客数を増やします。

長寿安心くまもと
(暮らし)

目標

- 健やかで、多様な生き方を選択できる県民を増やします。
- 保健、医療、福祉サービスを必要ときに受けられる体制を整備します。
- 様々なくらしの場面での安全を確保します。

品格あるくまもと
(誇り)

目標

- 誇れる地域の魅力をつくり出します。
- 県民総ぐるみで世界に誇れる環境立県くまもとをめざします。
- 九州新幹線全線開業効果の最大化を図ります。

人が輝くくまもと
(人)

目標

- 健やかに育つ子どもを増やします。
- 子どもたちの確かな学力と健やかな心身をはぐくみます。
- 働く人、働きたい人を応援します。

1 2 の 戦 略

農林水産業

魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業

商工業

活力があり、雇用を創出する商工業

観 光

「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと

健康・社会参画

県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会

医療・福祉

住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会

安全安心

安全安心で住みやすい社会

地域づくり

誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造

環 境

低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会

新幹線・基盤

九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展

子育て

子どもの笑顔があふれる社会

教 育

子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

就 労

働くことを通して自己実現できる社会

喫 緊 の 課 題 へ の 対 応

行財政改革

川辺川ダム問題

水俣病問題

政令指定都市誕生
に向けた取組み

経済上昇くまもと

産業を活性化し、稼げる県をめざします

戦略1

魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業

■ 「稼げる農業」の確立に向けて ～ブランド産品づくり～

- ・「熊本の顔」となるトップグレード品「くまもとイチ押しブランド」づくりに向け、10品目で生産を推進（梨「秋麗」：H19 0ha → H21 7haなど）、首都圏の量販店や高級果物専門店等に積極的に売り込み。
- ・次世代の農業を担うリーダーを育てる「くまもと農業経営塾」を開講。



梨「秋麗」

■ 休耕田・耕作放棄地のフル活用

- ・休耕田を活用した非主食用米の作付けが増加。（H20～21 約340ha増）
- ・非主食用米の需要拡大に向け、米粉商品開発、地元米を使った球磨焼酎のブランド化、畜産の飼料としての活用などを推進。
- ・小学校などと連携し、耕作放棄地で子どもの農業体験を実施。



学校給食での米粉パン

活力があり、雇用を創出する商工業

戦略2



知事トップセールス（シンガポール）

■ 企業誘致やリーディング企業の育成による雇用創出

- ・企業誘致件数は、H20～21の2年間で35件。進出企業の研究・開発部門の熊本移転、工場拡張等により新たな雇用を創出。
- ・高付加価値を生み出し、県産業をけん引するリーディング企業の育成に向け、県内24の中小企業を「育成企業」として認定し、支援を開始。

■ 東アジアとの経済交流の拡大

- ・韓国、中国、台湾、香港、シンガポールなどで、熊本の観光、物産の知事トップセールスを実施。
- ・熊本の観光、物産の情報発信拠点「広西・くまもとプラザ」（中国・南寧市）がオープン。同市で開催された「ASEAN 博覧会」にも出展。
- ・上海、シンガポールにアドバイザーを配置、企業の海外進出を支援。（「東アジア食の商談会」における商談成立件数：H20 5件、H21 11件）

戦略3

「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと

■ 新幹線全線開業に向け認知度アップ

- ・スザンヌ宣伝部長を起用した観光キャンペーンによるJR西日本の熊本への送客実績（H22. 10～12）が前年同期に比べ2.5倍に。



「くまもとサプライズ ザンス 観光キャンペーン」

■ 「歴史回廊くまもと」の観光ルートづくり

- ・旅行会社とタイアップし、国宝青井阿蘇神社など本県固有の歴史遺産、自然や風土、伝統文化等の資源を結ぶ「歴史回廊」をテーマにした旅行商品を造成。（H21～22 山鹿・菊池、八代、人吉・球磨、天草等で73本催行）

■ 県民総参加の「おもてなし作戦」

- ・観光や地域づくり関係の団体による景観保全や環境美化、マナー講座などの「おもてなし」向上活動を支援。（H20～21 122件助成）

長寿安心くまもと

長寿を楽しみ、安心して暮らせる県をめざします

戦略1

人権が尊重され、健やかに生き甲斐を持って、力を発揮できる社会

■ 高齢者が活躍する地域コミュニティづくりを支援

- ・高齢者などが担い手となるコミュニティ・ビジネス（農産物の加工販売、郷土食レストランや「地域コンビニ」開設などの起業）の立ち上げや計画づくりを支援。（H22 11団体）



住民団体による加工品づくり
（苓北町・天草木場の社自然学校）

■ 健康づくりを応援

- ・県内8企業と協定を結び、がん検診受診率の向上対策を実施。
- ・糖尿病重症化予防の地域保健・医療ネットワークをH23年度末までに全圏域で構築予定。
- ・食に関わる団体等と連携した健康食生活・食育を推進。（ヘルシーメニューを提供する「健康づくり応援店」 H23.1末で264店舗）

住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会

戦略2

■ 介護が必要になっても安心して暮らせるくまもとに

- ・認知症の早期発見・治療ができるよう、本県独自の基幹型・地域拠点型2層構造の認知症疾患医療体制を構築。（「熊本モデル」として全国的に評価される）
- ・認知症サポーター数、人口割合で日本一。（H22.3末で59,385人）
- ・グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、特別養護老人ホーム等の定員増（H23年度末までに約4,600人分整備予定）



「地域の縁がわ」での交流
（山都町・地域密着介護「こころ」）

■ 支え合い、交流する地域の拠点の普及

- ・地域の拠点「地域の縁がわ」（H22.3末で200か所）や「地域ふれあいホーム」（H22.3末で8か所）の開設等を支援。
- ・「地域の縁がわ」での農作業を通じた交流活動を支援。（H22 14団体に助成）

■ H23年末のドクターヘリ導入

- ・防災消防ヘリと連携した「熊本型」の救急搬送体制を構築予定。

■ 先進的な早産予防対策

- ・大学や医療機関と連携し、モデル地域で産科・歯科と行政が連携した早産予防対策を実施。（対象地域で1,500g未満の極低出生体重児の出生数が例年の約7割減少）

戦略3

安全安心で住みやすい社会



防犯対策街頭キャンペーン（熊本市）

■ 消費生活の相談窓口の整備促進

- ・H21～22の2年間で、新たに8市が消費生活センターを開設。
- ・全市町村における消費生活相談・多重債務相談窓口の整備促進。（相談窓口整備市町村の割合：H19 27.1%→H21 64.4%）

■ 地域ぐるみの防犯対策

- ・街頭パトロール強化等による刑法犯認知件数の減少（H19年 19,553件 → H22年 15,311件）
- ・防犯ボランティアの活動活性化（活動団体：H22.12末で648団体）

品格あるくまもと

誰もが誇りを持てる、魅力ある県をめざします

戦略1

誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造

■ 鞠智城の国営公園化、世界文化遺産登録、芸術文化の振興

- ・歴史公園鞠智城について、シンポジウムの開催（東京都）、「平城遷都1300年祭」（奈良県）や「世界大百済典」（韓国）への出展等、その歴史的価値を国内外で積極的にPR。
- ・「九州・山口の近代化産業遺産群」（旧万田坑、三角西港他）がユネスコの世界遺産暫定リスト入り（H21.1）。「阿蘇」、「天草のキリスト教関連遺産」についても登録をめざし学術調査を継続。
- ・永青文庫の美術工芸品・古文書の調査研究、修復の成果をもとに、県立美術館において「細川コレクション永青文庫企画展」を開催。（入館者：H21 2.2万人）

■ 新幹線全線開業に向けた景観づくり

- ・来訪者への「おもてなし」として、休耕田等を活用し、新幹線沿線を菜の花やれんげ等で飾る「イエロープロジェクト」を住民主体で実施。（新幹線開業時：155ha）
- ・新幹線沿線の景観を守るため、開業前から屋外広告物の規制を一部強化（商業地域等においても鉄道敷から200m以内で一般広告物を禁止）して実施。



新玉名駅周辺の菜の花畑（玉名市）

低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会

戦略2

■ 太陽光発電など新エネルギーの導入促進

- ・補助制度を創設し、太陽光発電の普及を促進。（住宅用普及率：H21 全国2位）
- ・国の「EV・PHVタウン」（全国18自治体）の指定を受け、次世代モビリティ（電気自動車等）の実証実験を開始（H22.12）。

■ 熊本の地下水の保全、活用

- ・有識者による「水の戦略会議」において、湧水源の保全、PRのため「熊本県平成の名水百選」50か所を認定（H22.6）。
- ・知事と11市町村長で構成する「熊本地域地下水保全対策会議」において、地下水保管理の新たな推進組織を設立することで基本合意（H22.10）。



熊本県平成の名水百選
（西原村・白糸の滝）

戦略3

九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展

■ 新幹線全線開業に向けた「世界に誇れる駅」の整備

- ・ブリツカー賞受賞の世界的建築家、安藤忠雄氏、西沢立衛氏設計による熊本駅の在来線駅舎、東口広場の整備。
- ・JR鹿児島本線等連続立体交差事業（鉄道高架化による交通の円滑化、一体的なまちづくり）や、熊本市電のサイド・リザーベーション（軌道敷の道路中央部から歩道側への移設）等周辺整備を推進。



在来線駅舎
（安藤氏設計）

東口広場
（西沢氏設計）



■ KANSAI戦略、新幹線元年戦略の推進

- ・「くまモン」によるPR活動やアンテナショップの開設（大阪市内）、知事トップセールスの実施などによる関西・中国地域での「くまもとブランド」の認知度向上活動の強化。
- ・県民一人一人が熊本の魅力を再発見、創出する「くまもとサプライズ」を展開するほか、全線開業（新幹線元年）を契機にした県民総参加による開業イベント等の実施、県内外への情報発信。

人が輝くくまもと

子どもたちが夢を持ち、挑戦できる県をめざします

戦略1

子どもの笑顔があふれる社会



地域ぐるみの子育て支援
(地域交流館「ばあちゃんち」・熊本市)

■ 地域ぐるみの子育て支援

- ・児童の安全な居場所を確保するため、放課後児童クラブの整備費（H22. 4～H23. 1末 7件）や運営費（H22. 4～H23. 1末 225クラブ）を助成。
- ・待機児童の解消をめざし、市町村における保育所施設整備を支援。（H22 年度に420人分整備予定）
- ・親子連れ客へのサービス提供や従業員の子育て支援を行う「くまもと子育て応援の店・企業」の普及（H20. 3末 1,120件 → H23. 1末 2,354件）

■ ひとり親家庭等の子育て支援

- ・H22 からひとり親等420人（全国最大規模）を対象に在宅就業に向けた訓練等をスタート。本県独自に子育てや教育を含めた総合的な支援を実施。

子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

戦略2

■ 「夢のある教育」の推進

- ・「熊本時習館構想」（私学夢プラン）に基づく私学の支援（様々な分野の第一人者による特別授業、教職員への研修、私学情報サイトの開設（H23. 2）など）
- ・公立・私立高校生の東京大学視察研修、がんばる高校生の表彰など、夢に向かって挑戦する高校生を応援。



東京大学の研究施設の視察

■ 「貧困の連鎖を教育で断ち切る」取組み

- ・生活保護世帯の子どもの大学等への進学を支援する生活資金の無利子貸付制度を創設。（H21. 4～H23. 1末 15件）
- ・県立大学において授業料が全額免除となる特別枠（2名分）を創設。
- ・育英資金の充実（H21 は約1割増の4,504人に貸与）
- ・私立高校に授業料等減免分を補助（H21 1,099人分）

■ 確かな学力と豊かな心をはぐくむ教育

- ・県学力調査「ゆうチャレンジ」を活用し授業改善等を実施、H22 全国学力・学習状況調査8項目中7項目で正答率が全国平均を上回った。
- ・スクールカウンセラーの配置等いじめのない楽しい学校づくりにより、公立小中学校の不登校児童生徒の割合が改善。（H20 1.05% → H21 0.98%）

戦略3

働くことを通して自己実現できる社会



ジョブカフェやつしろ（八代市）

■ 若者等の就労をきめ細かく応援

- ・県内全域で就職相談、マッチング支援を充実するため、ジョブカフェやつしろ、ジョブカフェ・ランチ（9か所）を開設（H22. 4）。
- ・ジョブカフェ利用者のうち、H20～21の2年間で1,813人が就職決定。

■ キャリア教育等の充実

- ・県立高校58校でインターンシップ実施。（H21 6,771人体験）
- ・県立高校35校、特別支援学校2校にキャリア・サポーターを配置し、求人開拓を行うなど生徒の就職支援を充実。



新大阪まで直結！
最短で2時間59分

平成23年3月12日 九州新幹線全線開業



発行者：熊本県(企画振興部 企画課)
〒862-8570(県庁専用郵便番号)熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL:096-333-2020 FAX:096-382-4066
E-mail:kikaku@pref.kumamoto.lg.jp
熊本県ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/>

22 企画 企
④ 001

このパンフレットは、再生紙、大豆インクを使用しています。